

町立小中学校等施設の耐震化状況を公表します。

資料提供日 令和4年4月1日

担当グループ 教育総務グループ

電話番号 079-435-0533(直通)

はじめに

学校は、こどもたちの学習の場であるとともに、その多くが災害時には地域住民の避難所となるなど、大切な役割を担っています。

播磨町では、建築基準法の改正(昭和56年6月)以前の基準で建築された校舎等について、耐震診断を実施し、耐震補強が必要と認められた校舎等の補強を行ってきました。

そして、平成20年6月18日に地震防災対策特別措置法が改正され、公立の小・中学校及び幼稚園の校舎等について耐震診断の実施とともに、耐震診断を実施した建物ごとにその結果の公表が義務付けられ、平成22年11月にはすべての耐震化が完了していましたが、平成28年に新たに加えられた耐震診断箇所も含めた、耐震診断等の結果を公表します。

耐震化の状況

学校別・建物種別		全棟数	昭和57年以降 建築の棟数 (新耐震)	昭和56年以前 建築の棟数 (旧耐震)	健全建物 及び補強済 建物の棟数	耐震性が 無い建物 の棟数	耐震化率	耐震診断 実施済みの 棟数	耐震診断率
		A	B	C	D	E	F=D/A	G	H=G/C
小学校	校舎	11	2	9	11	0	100%	9	100%
	体育館	4	1	3	4	0	100%	3	100%
中学校	校舎	10	1	9	10	0	100%	9	100%
	体育館 (武道場含む)	4	2	2	4	0	100%	2	100%
幼稚園	校舎	7	5	2	7	0	100%	2	100%

※ 吹き抜けの渡り廊下について、上記表の棟数には含まれておりません。

【播磨町】小中学校等施設の耐震化状況一覧表

R4.4.1

学校名	建物	建築年月	構造	階数	面積(m ²)	区分	診断年度	第2次診断			改修年度	改修後		
								Is値	CT*SD値	q値		Is値	CT*SD値	q値
播磨小学校	北校舎	S55.03	R	4	2,772	旧基準	H11	0.65	0.52		H16	0.77	0.66	
	南校舎 東側	S44.02	R	3	1,103	旧基準	H16	0.49	0.55		H17	0.76	0.84	
	南校舎 西側	S44.05	R	3	2,117	旧基準	H16	0.34	0.48		H17	0.78	0.86	
	体育館	S54.03	R	2	1,202	旧基準	H17	0.73	0.24		H19	0.81	0.85	
蓮池小学校	北校舎	S49.05	R	3	3,479	旧基準	H16	0.56	0.33		H17	0.85	0.47	
	南校舎 西側	S52.05	R	3	1,207	旧基準	H13	0.41	0.38		H14	0.81	0.77	
	南校舎 東側	S55.03	R	3	789	旧基準	H13	0.41	0.38		H14	0.81	0.77	
	渡り廊下・給食棟	S49.05	R	3	300	旧基準	H28	0.31	0.34		R3	0.71	0.76	
	体育館	S50.03	R	2	1,132	旧基準	H17	1.13	1.19		-	-	-	
播磨西小学校	校舎 西側	S51.08	R	4	1,999	旧基準	H15	0.55	0.3		H17	0.74	0.35	
	校舎 東側	S51.08	R	4	2,728	旧基準	H15	0.56	0.33		H17	0.73	0.35	
	体育館	S52.03	R	2	1,158	旧基準	H17	1.54	1.62		-	-	-	
播磨南小学校	校舎	S58.03	R	4	3,227	新基準	-	-	-		-	-	-	
	校舎	H28.03	R	4	749	新基準	-	-	-		-	-	-	
	体育館	S58.05	R	2	1,230	新基準	-	-	-		-	-	-	
	給食室	S58.03	R	1	257	新基準	-	-	-		-	-	-	
播磨中学校	北校舎 西側	S50.05	R	3	1,186	旧基準	H15	0.60	0.38		H18	0.75	0.38	
	北校舎 中側	S52.05	R	3	529	旧基準	H15	0.60	0.38		H18	0.75	0.38	
	北校舎 東側	S56.02	R	4	1,694	旧基準	H15	0.52	0.43		H18	0.75	0.48	
	南校舎 西側	S36.03	R	3	646	旧基準	H15	0.29	0.41		H17	0.75	0.83	
	南校舎 東側	S37.09	R	3	1,801	旧基準	H15	0.29	0.41		H17	0.75	0.83	
	体育館	S51.02	R	2	1,451	旧基準	H18	0.50	0.16		H20	1.10	0.58	
	技術棟	S56.02	R	1	315	旧基準	H19	2.57	1.04		-	-	-	
	武道場	S60.01	S	1	392	新基準	-	-	-		-	-	-	
播磨南中学校	北校舎 西側	S54.03	R	4	2,972	旧基準	H16	0.55	0.45		H18	0.73	0.56	
	北校舎 東側	S55.03	R	4	715	旧基準	H16	0.55	0.45		H18	0.73	0.56	
	南校舎	S59.03	R	4	2,274	新基準	-	-	-		-	-	-	
	体育館	S55.03	R	2	1,381	旧基準	H18	1.43	0.50		-	-	-	
	技術棟	S54.03	R	1	327	旧基準	H19	1.28	0.51		-	-	-	
	武道場	S62.01	S	1	436	新基準	-	-	-		-	-	-	
播磨幼稚園	教室棟	S54.03	S	2	637	旧基準	H19	0.22		0.26	H21	0.75	1.36	
	遊戯室棟	S54.03	S	1	225	旧基準	H19	0.27		1.09	H21	0.81	1.47	
蓮池幼稚園	管理教室棟	H13.04	W	1	470	新基準	-	-	-		-	-	-	
	教室棟	H13.04	W	1	284	新基準	-	-	-		-	-	-	
播磨西幼稚園	管理教室棟	H22.11	S	1	411	新基準	-	-	-		-	-	-	
	教室棟	H22.11	S	1	136	新基準	-	-	-		-	-	-	
	遊戯室棟	H22.11	S	1	186	新基準	-	-	-		-	-	-	

※ 耐震診断の対象となるものは、建築基準法の改正(昭和56年6月)以前の基準(旧基準)で建築された建物
非木造の校舎等で2階建以上または延床面積が200m²超の建物

【用語の解説】

- 「構造」欄の「R」は鉄筋コンクリート造を、「S」は鉄骨造を、「W」は木造をいいます。
- 「区分」欄の「旧基準」は新耐震基準施行(昭和56年)以前に建築されたものを、「新基準」は新耐震基準施行後に建築されたものをいいます。「新基準」については、耐震性がありますので各欄は「-」となっています。
- 「Is値(構造耐震指標)」は、建物の耐震性能を表す指標で、値が大きいほど地震に対する安全性が高いことを表します。「Is値」0.6以上で耐震性能を満たすとされていますが、学校施設については0.7以上が求められています。
 <Is値の目安>
 ・Is値0.3未満 大規模な地震に対して倒壊、又は崩壊する危険性が高い。
 ・Is値0.3以上0.6未満 大規模な地震に対して倒壊、又は崩壊する危険性がある。
 ・Is値0.6以上 大規模な地震に対して倒壊、又は崩壊する危険性が低い。
 大規模な地震とは、震度6強から震度7程度の地震を想定しています。
- 「CT*SD値」は建物にある程度の強度を確保する目的の建物の形状(SD)や累積強度(CT)に関する指標で、「Is値」が高くてもこの値が低い場合は安全としない目安です。
 「CT*SD値」が1.25以上では「Is値」が低くても安全とし、0.3以下では「Is値」を満足しても安全としません。
- 「q値」は保有水平耐力にかかる指標で、1.0以上であれば倒壊や崩壊の危険性が低く、1.0未満では危険性があるとされています。